

『 岐阜県発日本一、世界一 ～ 4 月 ～ 』

その1

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第79回選抜高校野球大会	第2位	H19.4.3	大垣日本大学高		希望枠で選ばれた初出場の大垣日大は、名将阪口慶三監督の采配の元、一戦ずつ着実に勝ち上がった。決勝は、同じ東海勢、常葉学園菊川との対戦となり、終始優位を保つも、終盤に逆転され5 - 6で惜敗し、県勢48年ぶりの準優勝となった。(兵庫県西宮市：甲子園球場)
第83回日本選手権水泳競技大会 競泳競技 女子50m平泳ぎ	第1位	H19.4.7	三輪 芳美 (KONAMI東日本)	県岐阜商高卒	昨年度のこの大会の女子50m・100m平泳ぎで2冠の三輪は連覇を狙うが、好調の田村菜々香(東海大)に200mと100mの優勝を許す。50mは0.07秒差で田村を下し、2連覇を飾った (千葉県習志野市：千葉県国際総合水泳場)
第15回東建ホームメイトカップ ゴルフ	第1位	H19.4.15	上田 諭尉	大垣市出身 大垣日大高卒	昨年度のこの大会で繰り上げ出場し、見事2位に入賞した上田が、初日から首位を守り、4日間通算276打8でツアーデビューから11年目にして初優勝を飾った。 (三重県桑名市：東建多度CC名古屋)
JOCジュニアオリンピックカップ 2007年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 男子ジュニアの部 グレコローマンスタイル66kg級	第1位	H19.4.22	成瀬 一彦 (日体大3年)	中津商高卒	昨年度優勝の成瀬は予選から危なげない試合展開で勝ち進み、準決勝では渡辺拓(日本体育大)に今大会初ポイントを許すも2 - 0で判定勝ちを収めた。決勝では、柴田慎吾(日本体育大)と熱戦を繰り広げて、2 - 1で判定勝ちを収め、2連覇を飾った。(神奈川県横浜市：横浜文化体育館)
女子カデットの部43kg級	第1位	H19.4.22	長沼 美香 (岐阜工高2年)		昨年度この大会で完敗した増田奈千(吹田市民教室)を2回戦で接戦の末退けた長沼は、決勝へと進み、鈴木見織(安部学院高)と一進一退の戦いを繰り広げたが2 - 1で下し、見事初優勝を飾った。(同上)

その2

大会、競技会名 (主催者名)		成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
男子ジュニアの部 フリースタイル74kg級	第2位	H19.4.22	鎌田 学 (中京学院大2年)	岐南工高卒	3回戦で、以前敗れた三浦佑介(日本文理大)に雪辱すると、準々決勝でも尾曲伸之祐(青山学院大)相手に劣勢を挽回して勝利。決勝では、高谷惣亮(網野高)に破れたものの自己最高の全国2位となった。この結果、7月にマニラで開かれるアジアジュニア選手権への出場が内定した。 (神奈川県：横浜文化体育館)	
	男子ジュニアの部 フリースタイル84kg級	第3位	H19.4.22	山口 剛 (中津商高3年)	3月に行われた全国高校選抜大会で、圧倒的な強さで優勝し今大会に臨んだ。準々決勝では大学生の土井峻(早稲田大)を接戦の末に判定で破り、準決勝でも本田博士(中央大)によく食らいついたがポイントを奪えず判定で惜敗した。 (同上)	
第7回全国ジュニアビームライフル 射撃競技大会 少年男子立射60発競技団体	第1位	H19.4.29	郡上北高A 山田直樹 大竹龍樹 尾藤俊介		高校男子99名、中学男子12名の競技者で行われた。郡上北Aは上位8名に、山田、大竹の2名が残り、昨年度優勝の水口高校を抑えて、日本新記録で3年ぶりの優勝を飾った。(岐阜県岐阜市：岐阜メモリアルセンター)	
	少年男子立射60発競技	第3位	H19.4.29	山田 直樹 (郡上北高)	山田は予選を6位で突破し、上位8名によるファイナルに進んだ。ファイナルでは集中力を発揮し104.1と高得点を挙げ、見事3位に食い込んだ。(同上)	
	少年女子立射40発競技団体	第3位	H19.4.29	済美高A 松内莉香 清水綾乃 広瀬貴恵	高校女子96名、中学女子7名の競技者で行われた。済美Aは松内が混戦のなかファイナルに残る健闘をみせ、チームを牽引し、見事3位に入賞した。(同上)	
	少年女子立射40発競技	第3位	H19.4.29	松内 莉香 (済美高)	予選で397点6人が並ぶなか、1人が予選落ちという状況でファイナルに進んだ松内は、ファイナル8人中1位の104.2点を記録し、堂々の3位に入賞した。(同上)	